

ナゴルノ・カラバフからの避難民及びホストコミュニティのための 強靱性のある営農促進計画に関する日本・UNDP 間の交換公文(E/N)署名式

2026年2月17日、アルメニア共和国経済省（エレバン）において、日本政府と国連開発計画（UNDP）アルメニアとの間で「ナゴルノ・カラバフからの避難民及びホストコミュニティのための強靱性のある営農促進計画」に関する交換公文（E/N）の署名式が行われました。

青木豊駐アルメニア日本国大使とナティア・ナツヴリシュヴィリ UNDP アルメニア常駐代表が E/N に署名し、アルマン・ホジョヤン経済省次官が立ち会いました。

本計画は、多くの避難民を受け入れているアララト州、アルマヴィル州、アラガツォン州、コタイク州を対象に、総額 8.25 億円（約 520 万ドル）の支援を通じて、地域の食料システムの強化と農業分野での雇用創出を図るものです。これらの取り組みを通じて、避難民およびホストコミュニティの人間の安全保障を確保し、経済的自立を促進します。

青木大使はスピーチの中で、2023年9月のナゴルノ・カラバフにおける悲劇により 10 万人を超える避難民がアルメニアに流入したことに触れ、この重要な局面において我が国がアルメニアの人々と共にあることを強調しました。また、アルメニア政府が避難民支援において卓越したリーダーシップを発揮してきたことに敬意を表しつつ、我が国も同志国とともに、アルメニア政府の負担を少しでも軽減するべく協力できることを誇りに思う旨述べました。



経済省次官（中央）とともに署名式に臨む青木大使
とナツヴリシュビリ UNDP アルメニア代表



握手する青木大使とナツヴリシュビリ UNDP アルメ
ニア常駐代表